

平成24度 コンサルNSP活動報告

平成25年2月9日

私たちNSPは、「慶びにあって慶びを求める」を理念とし、行動理念は「利他の精神に導かれた“お客さまの幸福は私たちのよろこび”と考え「次段階の提案者として、異能種交流会をもって広がりをつなぐを創ること。そして、参加のよろこび、行動のよろこび、役立ちのよろこびを活動基準とすること」を定めました。

今年度は、それらの価値の実現のために以下の事業を行ってまいりました。

1. 理念の浸透事業

今年度は、メンバーが日常の活動の中でいかにその実践を行っているかについて、相互の理解を深め、社会に貢献するコンサルタントになれるかの研究と行動をしました。特に東北大震災の被災地に異能者集団の我々が行える貢献をしたいと願い、夏の集会を現地で開き、更に実行に向けた臨時集会を持ちました。

<実施事業>

〇冬の集会 in 日本橋

平成24年1月21日、22日

テーマ ①「日本橋の再開発について」②「メンバーを深く知る」

スピーカー 竹崎さん 徳田さん 小形さん

幹事 竹崎さん 平松さん 塚本さん 早田さん 近藤さん

江戸商人発祥の地である日本橋の今日の姿と未来ビジョンを、映像と現地視察で探訪しました。「日本橋ルネサンス100年計画」に基づき三井不動産勤務だった竹崎さんから解説していただき、全体像が良く理解できました。

「メンバーを良く知る」は徳田さんと小形さんの登場でした。

政治家や実業界の要人のイメージアップの指導をしている徳田さんから、早田さんと丸田さんをモデルに実践指導がありました。

小形さんは「社会保障と税の一体改革」のテーマで、世界の中の日本から消費税を納める我々の視点に立った解説がありました。資料は「よくここまで」と思えるほどの豊富な内容でした。

〇夏の集会 in 福島

平成24年7月8日、9日

テーマ 「東日本大震災の復興に役立ちを行う」

幹事 佐川さん、佐藤さん、大関さん、重楽さん

我々の思いと願いを集めた集会は、現地で獅子奮迅の活躍をしている佐藤さん、大関さん、佐川さんの受け入れ準備で、現地でしか判らなかつた被災地の実際と、厳しいその中で力強く復興に向かって歩む皆さんを知ることが出来ました。メンバーはそれぞれが何が出来るかを模索しながら視察と懇談を行いました。

初日 「懇談会：原発災害復興の現状と今後のあり方」

鈴木安一氏（岳温泉観光協会会長）

小黒敬三氏（浪江町議会災害対策特別委員長）

佐々木讓司氏（福島中小企業診断協会会長） 菅野覚（同事務局長）

2日目 南相馬市の市街地視察

バスで移動中、被害の大きかった飯野市、川俣町、飯館村を經由しました。人が住めない地域に変わってしまった現実の厳しさに胸を衝かれ、除染作業の

心もとなさを感じました

11時から昼食をはさんで、原町商工会議所会員の小澤さん、高橋さん、須藤さんと経営指導員の鈴木さんと懇談しました。地域住人が減少した中で踏ん張る中心商店街の皆さんの活動に感銘を新たに、心からの拍手と我々が何でお応えできるか、を深く思いました。

帰路のバスの中で、この思いを実現するための臨時集会を開く決定がされました。また、今回の貴重な体験を各自がそれぞれのフィールドで発信することについても確認しました。

○臨時集会

平成24年9月23日（日） 場所 東京銀座 銀座通り法律事務所
参加人数 8人

佐藤さんから夏の集会以降の実情が報告され、2時間に亘ってファシリテーションによる意見交換と実行計画が打ち出されました。

- 1 我々が出来ることを具体的に表現したプロフィール表の作成
- 2 上記から現地の皆さんが必要とする支援策を打ち出していただく
- 3 佐藤さんからそのコーディネートをしてもらう
- 4 実行の予定日を11月23日とする

以上でしたが、現地の皆さんには早急に解決すべき課題があり、実現は先に延ばされました。息を長くご支援を続けましょう。

2. 互恵事業

われわれが持つコンサルタント能力や専門能力、そして正しいもの、美しいものを方向づける価値観に優れているメンバーの登場が必要とされています。

- (1) 東日本大震災の復興に現地で力強い活動を続けている佐藤さん、大関さん、重須さんにわれわれの出来る支援活動を始めました。
- (2) 中小企業診断士協会の研究会の講師として、竹崎さんから「日本橋再開発について」の講演と現地の視察の解説を、平松さんが依頼し実行しました。
- (3) 五味さんに燕商工会議所のラッピングセミナーに柴田がお願いして好評を得ました。

3. 広報活動

福島震災支援のために、各自のお役立ちシートとプロフィールの作成をしました。この活用は翌年度に期待します。